

「山王中学校生徒指導通信」～「志」が宿り、「いかに生きるか」を考えるために～

『命の山王』

No. 20 [2018年 9月27日(木)]

常に心はエベレスト

私は登山の経験はほとんどありません。せいぜい登った山と言えば、太平山と秋田駒ヶ岳です。それも、学校行事のために登っただけで、多少苦しかったのですが、特別な準備をしたわけではありません。もちろん、それでも山頂に着いた瞬間の爽快さは、忘れられないものがありました。とはいえ、自ら山を登ってみようという気持ちにはなれません。

ところで、ずっと以前に知った言葉「常に心はエベレスト」が忘れられません。ある登山家が使った言葉らしいのですが、その意味は、エベレスト(ヒマラヤ山脈にある世界最高峰)だけを目指しているというのではなく、常に最高峰を目指すという気持ちをもち続けることが大切だ、ということです。また、なぜエベレストなのかというと、世界一を目指すことは、仮に他の山に登ることになったとしても、決して無駄なことではないから、だということです。

さらに、その登山家が言うには、もう1つ大切なことに「途中であきらめることも必要なのだ」という点でした。これは、登山家の鉄則だそうで、無理をすると命にかかわり、例え登頂に成功したとしても、帰れなくなる場合があるため、常に最悪の状況を頭に描きながら、登っていくのだそうです。

登山というものは、例えそれほど高い山でなくても、見くびることは危険なことで、常に準備は必要です。しかし、最初から太平山や秋田駒ヶ岳に登ることを目標にするのと、エベレストを目標とするのでは、まったく違う準備が必要なことは誰にでも分かります。エベレストならば、何ヶ月も前からの準備やトレーニングが必要ですし、サポートしてくれる人が多くいなければならず、当然チームとしてまとまりも要求されます。それだけのことを乗り越えるには、強い意志や心構えなど、すべてが違ってくるのだと思います。そしてそれは、仮に他の山を目指すことになったとしても、その準備は必ず生かされることになるはずで、この考えを「エベレスト理論」というのだそうです。どこを目指すのか、それが決まった時点で、その後の行動が決まるのだと思います。

誰にとっても、目標は必要です。そうでなければ努力するためのエネルギーにはならないと思うからです。だとすれば、目標は高い方がよいのは当然なのではないでしょうか。

〔生徒指導主事：木内記〕

「若人山王精神」物語その11

昨日の5校時に、全校の授業研究会が行われました。1年5組の社会科の授業を全校の先生方が参観しました。内容は「インドのIT産業の成長にはどんな背景があるのか」という視点で、資料や教科書を基に生徒一人一人が、調べて考えを深めるというものでした。1年5組の生徒はそれぞれが正しい答えを探すために、とてもよく頑張っていました。生徒たちの反応の良さや集中力に頼もしさを感じました。

「衣替え」について

早いもので、来週からは10月です。日に日に秋らしさを感じられるようになりました。今後の気温なども考慮して、移行期間は明日までとして、10/1(月)から衣替えの完全実施とさせていただきます。

よろしくお願いします。

◎大型で強い台風24号が、来週東北地方に接近するという予報が出ています。今後の進路によって秋田県でも影響が出る場合は、緊急メールで連絡をすることになります。よろしくお願いいたします。